

若くして衆議院議員を務め、現在はコメンテーターとして活躍する杉村太蔵氏。就職氷河期に大学を中退し、派遣のビル清掃員からキャリアをスタートした。その経験から非正規雇用の環境改善に尽力し、地方の活性化にも取り組んでいる。就職氷河期世代と地域商店街の未来をどう描くか。杉村氏と野口旭審議委員、北海道旭川市生まれの二人が語り合った。



日本銀行政策委員会 審議委員

野口 旭

NOGUCHI Asahi

1958年北海道生まれ。82年東京大学経済学部卒業、88年東京大学大学院経済学研究科第2種博士課程単位取得退学、同年4月専修大学経済学部講師、91年専修大学経済学部助教授、97年専修大学経済学部教授、2003年イェール大学国際地域研究センター客員研究員、21年中央大学経済学博士号取得、同年4月より日本銀行政策委員会審議委員。

苦しむ就職氷河期世代に伝えたい 人生一〇〇年時代のトップを走れ



コメンテーター

杉村太蔵

SUGIMURA Taizo

1979年北海道生まれ。小学4年生でテニスを始め、札幌藻岩高等学校在学時の97年10月、なみはや国体のテニス少年男子で優勝。98年4月筑波大学体育専門学群に入学、2004年3月中退。オフィスビルの清掃員を経て、外資系証券会社に勤務。05年9月、自民党公認候補として第44回衆議院議員選挙に立候補し、当時最年少当選を果たす。現在は「サンデー・ジャポン」(TBS系)などでレギュラーコメンテーターを務めるほか、株式会社CocoHarete (ここはれて)の社長として、新規創業支援を中心とした新しいまちづくりを提唱し、22年7月旭川市に「旭川はれて屋台村」、24年1月山口県下関市に「唐戸はれて横丁」を開業。同年7月から旭川平和通商店街振興組合理事長も務める。

就職氷河期に大学を中退 ビル清掃員から代議士へ

野口 杉村さんのことはテレビや

いろいろな記事を拝見して、よく存じ上げています。実は私の亡き父は北海道新聞の記者で、初任地の旭川で私が生まれました。

杉村さんは旭川で幼少時からテニスを始め、高校三年生の時に国体で優勝されていますね。

杉村 私の祖父は旭川に初めて硬式テニスを持ち込んだ人で、歯科医をしながらテニスクラブを経営していました。その影響で父もテニスをやり、私は父から手ほどきを受けて、高校は越境入学で強豪校の札幌藻岩高等学校へ。そこでがんばって、一九九七年に大阪で開催された国体で優勝したんです。

大学はスポーツ推薦で筑波大学に進学しました。でも、入部したテニス部には足を運ばなくなり、一年ぐらい引きこもって……。今から思えば、燃え尽き症候群、バーンアウトだったんだろうな。当時はそういった症状はまだ解明されていなくて、自分は単なる怠け者、堕落者だと思っていたんです。

野口 杉村さんが大学生だった頃は就職氷河期でした。学生がどれほど苦労したか、その当時、大学で学生に授業をしていた私としては身に染みて知っています。大学を普通に卒業しても就職が難しいという時代に、杉村さんは苦悩の末に中退されて……。

杉村 何か日銀で就職試験を受けている気分になってきました(笑)。
野口 嫌なことを思い出させてしまい、申し訳ありません。

杉村 いやいや、就職氷河期は本当に大変だったんですよ。筑波大学の学生でも、三〇社、四〇社受けても内定が出ない。二年留年して中退した私なんて、どこも相手にしてくれません。政府が飯田橋につくったヤングハローワークに行ったら「杉村君、やりたいことを見つけてなさい」と言われて。そもそも、やりたいことが見つからない人はそこには来ません。何でもいいからやらせてくれる会社を教えてくださいという人が来るんです。

野口 その後、杉村さんはビル清掃の仕事に就かれたとか。

杉村 派遣会社に登録し、首相官邸近くのビルの一八〇二二階を担当

とする清掃員になりました。何をしていたか分からない不安の中で、やっと与えられた仕事です。平日朝六時〜午後三時の間、オフィスフロアから廊下、階段まで心を込めて掃除し、トイレの便器はピカピカに磨き上げることを心がけました。そのうち、清掃中に言葉を交わす人がボツボツ出てきて、ある日、その中の陽気な外国人ビジネスマンが「ウチで働かないか、一週間後の試験を受けてみて」と声を掛けてくれたんです。ビルのテナントのドイツ証券の重役でした。ちょうど東証が上場企業に対し四半期財務の概況の開示を求め始めた頃で、煩雑さが増した事務の雑用係として私は雇ってもらえることになったんです。

野口 衆議院議員選挙に立候補されたのは、証券会社で働いて一年が過ぎた頃ですね。

杉村 私は株式調査部のアナリストアシスタントになっていました。郵政民営化と株価への影響を調べると言われ、情報を収集していくうちに自民党のホームページにぶつかりました。見れば、候補者を公募している。審査論文の課題は「郵政民営化と構造改革に

ついて」。私は、株式調査部長や営業担当者から日頃聞いている話をベースに、機関投資家の声も盛り込んだ論文を送りました。二日後、党本部から電話がかかってきて「近々来てもらえますか」と言うから「五分で行きます」と。それから五回の面接、三回の論文試験を経て公認候補に決まりました。

野口 しかし、当選して舞い上がって、思わず例の「料亭」発言が出てしまったということでしたね。

杉村 何の悪気もなかったんですよ。当時の私にとっては政治家といたら「料亭」というイメージがあった。行ったことなかったから、行ってみたいですねと言ったら、その日の夕方のニュースで「日本は終わった」とキャスターが激怒して。もう参ってしましましたね。

自民党内でも「だれが杉村太蔵の公認を決めたのか」と問題になったようですが、全員、俺は違うと(笑)。ただ、議事録を見ると、「杉村太蔵は今の日本のちょうど普通の若者だ」という趣旨の議論があった。要は、頭がいいわけでもないわけでもないけれど、一生懸命がんばっている、そんな若者

に選挙はいい経験になると公認したのでしよう。

野口 フリーター・ニート世代の代表として、その声を国会に届けたいという話をされていたと記憶しています。

杉村 議員バッジをつけてもらった瞬間から、あれもやろうこれもやろうと。とくに、私自身が世間から言われて辛かった「非正規社員」という呼び名を何とかしたかった。官邸でも訴えました。非正規社員は正しくない社員と書く、こんな言葉は差別的だと。一緒に働いているのに、こっちは正規、あっちは非正規。ドイツ証券では、そんな考え方はなくて、この会社で働いている人は全員ドイツ証券の職員なんだ、その自覚と誇りを持ってくださいと。今でも当時の皆さんと交流させてもらっているんですが、彼らと働いていた頃が、これまでの人生で最も楽しかったように思います。

過去の二〇年を悔やむな 未来の三五年に挑戦せよ

杉村 国会議員時代、所属していた厚生労働委員会で質疑したの

は、新卒一括採用をやめてもらえないかというものでした。新卒枠での就活がうまくいかなかった学生が、新卒の肩書を残したいがために、わざわざ留年するケースが目立ったからです。

野口 私が勤務していた大学でも見られました。

杉村 こんな無駄なことはないですよ。今、第二新卒採用というのを実施する企業が出てきましたが、あれから二〇年ですからね。

野口 第二新卒採用やキャリア採用など、違うルートで社員を採用する企業が増えましたが、それは人手不足のほかに、就職氷河期のロスジェネ世代と違って今の若年層は転職率が高まっているという背景もあるからでしょう。二〇年前の杉村さんの問題提起は、当時の日本経済の状況からすると早すぎたのかもしれない。

「世代ガチャ」などという言葉を見聞きしますけれども、その時代の経済によっても若い世代の生き方が大きく左右されてしまう。九〇年代末からデフレが一番ひどかった頃の若い世代は非常に理不尽な目に遭ったのではないでしょう。私は大学で三〇年以上、学

生の様子をつぶさに見てきました。バブル期、就職氷河期から、就職の状況が劇的に改善したアベノミクス期まで、マクロ経済政策が若い世代に大きな影響を与えるということを実感し続けてきました。私は日銀に来る前から、「デフレ脱却がとにかく大事だ」と言ってきたのですが、それはこうした実感に基づいています。

杉村 われわれ就職氷河期世代というのは、世代内の格差が凄く激しいんです。ただ、一つ言えるのは、過去の二〇年を振り返って悔やんでいてもしょうがないよねと。人生一〇〇年時代では、今四〇代

半ばの就職氷河期世代も八〇代まで働くのが当たり前になる。あと三五年あるわけだから人生をあきらめる必要なんてまったくない。リスキリングやリカレント教育で新しいスキルを身につけてチャレンジできます。就職氷河期世代は二〇年の下積みを経て、これから人生一〇〇年時代のフロントランナーになれるんだと私は伝えたい。政府もメッセージを出してほしいし、そういうマインドを醸成する経済政策が重要になるはず。野口 それは大事な視点ですね。

大変な思いをして就職した就職氷河期世代の人たちは、賃金を上げなくても辞めやしないだろうと甘く見られているような気がします。これまでは、そんな世代はこれからどうなるのかとネガティブな見方ばかりでした。でも杉村さんは彼らの先行きをポジティブに捉えている。

考えてみたらその通りです。今、七〇でも八〇でも働いている人が増えている。九〇で働く人だって増えるかもしれません。就職氷河期世代はまだ人生の半分ぐらいしか来ていない。まだまだチャレンジできるんだということですよ。

杉村 就職氷河期世代が自分で気付いていない盲点だと思います。

野口 いろいろな大学がリカレント教育を実施していますが、受け入れている学生は「リタイア後に学び直したい」というタイプが多い。今後は本当の意味のリカレントで、四〇、五〇になってからもう一度チャレンジするという人が増えるといいなと思います。

杉村 そのためには大学と企業の連携が有効だと思います。例えば私の地元の旭川の大学は、大学だけで学生を集めるのは今後難しく

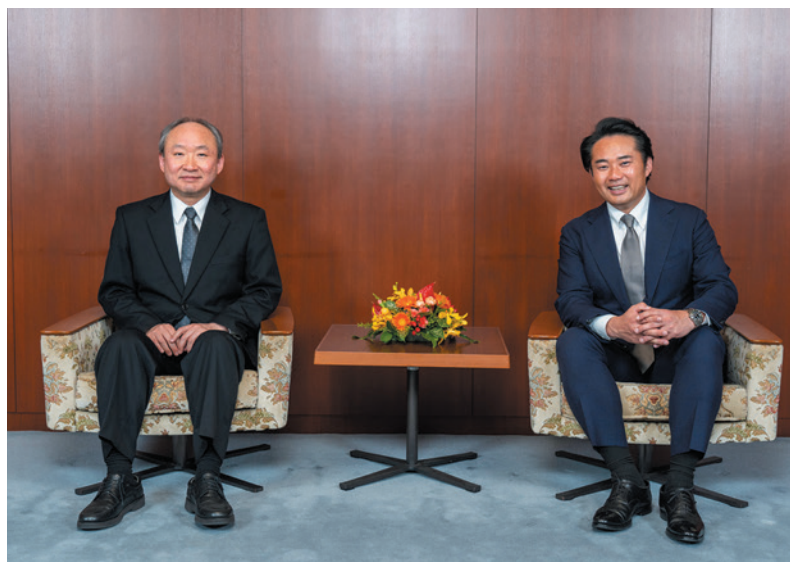
なるでしょう。そこで企業と連携し、旭川ソニー大学、旭川ニトリ大学といった形で学び直しをする学生も受け入れる。大学と企業は積極的にリカレント教育を施し、卒業すればその企業に就職できる道も設ける。そんなふうには就職氷河期世代にもう一度やる気と夢を与える政策がこれからの日本経済にとって重要ではないかと。僕らの世代をきちつと一人前にすることは、長期的な社会保障の観点から極めて重要だと思うんです。

商店街に新規開業者とインバウンドを集める

野口 杉村さんは時事問題を分かりやすく解説するコメンテーターとして、また投資家としても広く知られています。日銀の金融政策にかかる情報発信、とくに一般向けのコミュニケーションについてアドバイスをいただけないでしょうか。

杉村 総裁の会見などを理解するために「実質金利」が重要なキーワードになっていると思います。私は金融経済教育推進機構（J-FLEC）主催の講演会の

講師として中学・高校で講演する機会がありますが、「名目金利と実質金利の違いを自分の言葉で言えるようになりましょう」と必ず話しているんです。名目金利から期待インフレ率を引いた実質金利がマイナスのときは、お金を預けているだけでは価値が目減りしますよね。こんな基本中の基本を説明できる人が意外と少ない。金



融政策の基礎みたいなところは、YouTubeなどを利用して、日銀が一般向けに解説してもいいかなとは思っています。

野口 身に染みるアドバイスです。現在は金融経済教育のほか、旭川などの地域活性化にも貢献されていますね。

杉村 新規創業支援を中心とした、全国の中核都市の活性化事業を私の会社で始めています。活性化という言葉の定義は明確ではありませんが、旭川では駅前から続く中心商店街の活性化がまず重要だと考えました。商店街に自分の店を持つ新規創業者を増やし、雇用も増やし、税収増から行政サービスの向上につなげる。そんな好循環を生み出して旭川を活性化したい。

では、どうしたら旭川の商店街に店を持つと思うてもらえるか。イニシャルコストは四〇〇、五〇〇万円かかりますが、失敗しても多額の借金が残らない仕組みがあれば意欲的な人はチャレンジするだろうという仮説のもと、シャッター通り化・コインパーキング化した商店街の四五〇坪の土地を私の会社で買って、そこに五

六坪の小さなお店を出したい人を募りました。出店の条件は、①敷金・礼金は要りません、②年齢・性別・学歴は問いません、③明日やめるといっても違約金は発生しません、④原状回復義務はありません、⑤厨房機器も什器も全部こちらが用意します、⑥完全キャッシュレスで売り上げの八〇%を翌月に戻します、といった項目です。

二〇二〇年に出店者の募集説明会を開いたら四〇〇人の市民が来てくれて、第七次審査まで行いました。そして二五店舗で「旭川はれて屋台村」という飲食・物販の複合施設をオープンしたんです。三年たって活動が評価され、私は旭川平和通商店街振興組合の理事長に就任しました。国会議員からタレントになった人は私が初めてだと思いますが、商店街の理事長になった人も初めてらしいです。

野口 私は七、八年前に、勤務先の大学の仕事で、数十年前ぶりに旭川に行きました。駅から延びる商店街の通りが広く、気持ちよく歩けるなど感じたことを覚えています。今、札幌やニセコはインバウンドで盛り上がりつつあるようですが、旭川はどうですか。

杉村 一昨年の十二月にLCCが成田―旭川線に新規就航してから旭川もインバウンドが凄く増えています。私は商店街組合の皆さんに「今までの対地元の商売を改め、これからは外国人旅行者をおもてなしするように考え方を変えて」と言っているんです。お土産屋さんにも事業転換するのでもいいでしょうし。

インバウンドは大型ショッピングセンターではなく、地元の商店街をぶらぶら歩きたいはずなんです。私は旭川の商店街を、外貨を獲得する装置に生まれ変わらせたいんです。

野口 それはよく分かります。福岡の屋台や盛岡の古い町並みなどが良い例ですが、外から人々呼び込む魅力という点でいえば、地元でしかできないような体験をコンテンツとして提供できるか、コト消費を喚起できるかが大事になってきますね。

就職氷河期世代への同世代としての励まし、そして杉村さんの地元である旭川から日本の明るい未来に向かって皆を鼓舞する、大変いいお話でした。本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。